



『平和な世界を築く視点：真実は非常識にあり』

浜田和幸 講演資料

(参議院議員、元外務大臣政務官、前東京オリンピック招致委員)

1、ノーベル平和賞受賞者オバマとマララの違い

2、エボラ出血熱に隠された真実

未承認特効薬開発企業と米国防総省との関係

全米疾病対策センター（CDC）の企業価値

オバマ大統領の感染者隔離政策の是非（今回の緊急事態発生前に大統領令に署名済み）

米軍を投入し、西アフリカの油田確保に取り組むアメリカ

3、マレーシア航空機の撃墜と行方不明に隠された真実

アメリカが主張するロシア犯人説を否定したドイツ諜報機関の証拠

マレーシア国内で台頭するウクライナ空軍犯人説

撃墜事件の陰で進行するアメリカ企業によるウクライナのシェールガス田開発

マレーシア航空機撃墜と同時に開始されたパレスチナ・ガザ地区への空爆（海底油田）

4、尖閣諸島の領有権をめぐる日中対立に隠された真実

1885年に沖縄県が調査してから日本政府が標識建設を許可するまでの空白の10年

学術調査と共同研究を提唱する中国の意図

同諸島海域の海底油田開発をめぐる日中両国の取り組みの違い（経済、軍事的要素）

エネルギー確保と環境対策の遅れがもたらすチャイナ・リスク（公共財としての海洋）

5、海洋汚染を続ける福島原発に隠された真実

300年以上かかる汚染処理（核種の90%に関する汚染状況調査を拒む東電）

動植物、海洋生物にも突然変異を引き起こしつつある放射能汚染

6、地震、火山噴火をもたらす地球温暖化に隠された真実

2015年にも大噴火が懸念される白頭山（北朝鮮の地下核実験が誘発）

2020年の東京オリンピック会場を飲み込む海面上昇

7、人類の進化を加速させる先端科学研究の行方：「スター・トレック」の幕開け？

平和の戦士は誕生するのか

8、八雲立つ出雲から陽が昇るわけ